

自分たちでつくる村

あなたは村の子どもたちにどんな子に育ってほしいですか？
 どんな子ども時代を過ごしてほしいですか？あったらいいなと思うものは何ですか？
 そんな思いを現実にするために、村の中で活動している人たちがいます。

子育て支援ボランティア カンガルークラブ



「子育て中の親や大切な子どもたちの手助けや
 応援をしよう」と思った有志の人たちが、ふ
 れあいの森図書館の本の購入や整理、保育所
 や小中学校での定期的な読み聞かせの会など
 を行っています。

NPO法人グリーンウッド 自然体験教育センター



誰もが安心して暮らせる社会を目指して、山村
 留学施設「暮らしの学校いだらぼっち」等を
 運営している団体です。グリーンウッドの教育
 理念や野外活動のノウハウは、村の子どもたち
 が育つ環境にも大きな役割を担っています。

あんじゃね支援学校



学校長やPTA、村議会議員など、村の有志約
 20名が集まり、村の子どもたちの教育につ
 いて考え、実現していくための会議です。若者から
 村の長老に至るまで、幅広い年代が一堂に会
 し、こどもたちの未来について語り合います。

「自分たちでつくるから楽しい！」泰阜村は1人1人の思いと力が合わさってできています。

中学3年生に聞きました！

(令和3年度)

Q 泰阜村で育って良かったと思うことは何ですか？

1位 豊かな自然 (12人)

- 空気が気持ちよく、水も食べ物もおいしい。星や朝の雲海がとてきれい。
- 山で遊んだり、小さい頃から自然に触れてきて感性豊かになりました。
- 生き物にふれる機会が何かとあり、生物の大切さを学べます。

2位 村の人たちとの交流 (優しく協力的！) (11人)

- 地域の皆さんが優しいこと。登下校中に声をかけてくれて、うれしい。
- 本当に子どもたちを大切にしてくれていて、読み聞かせの会や親子スポーツなど交流できるものがあります。

2位 村の子育て支援などの取組 (11人)

- ブックバトンや英検の受験料の補助、学校のトイレの工事、子どもへの対応がすごい。普段は本を読まないけど、ブックバトンでもらった本を読むようになりました。

4位 子どもの数が少ない・仲が良い (6人)

- 人数が少ないのが逆に良くて、クラスは保育園から中学卒業まで同じメンバーで全員と仲がいい。このクラスで良かったと思います。
- 子どもの数が少ないので学年関係なく仲良し。

5位 みんなで集まる行事 (6人)

- ロードレース・花いっぱい運動・夏祭りなど数えきれない程の企画があり楽しい。
- 村の人たちが協力的で、行事などが楽しい。中学生もボランティアで参加できます。

感謝

泰阜村の良いところを尋ねたこの質問への答えに、多くの中学生から地域の方々への感謝の言葉が出されました。

- 私たちの見えない所でも沢山支えていただきました。
- 今まで普通に暮らしてることができたのも、地域の方々のおかげだと思います。
- 本当にありがたいなと思うし、この村に住んでいて良かったなと思います。

当たり前のようにある身近なものの良さに気づき、そのことに感謝の気持ちを持つこと。
 それは、幸せに生きる力。

Q 泰阜村のことはどのくらい好きですか？

% (パーセント) で表してください。



好きなところ

- 地域の人たちやクラスメイトがとて優しく、思いやりがある。いじめがないことです。
- 健康な人が多い。
- だいたいの子どもも村民として扱ってくれる人がいる。
- 自然がいっぱいで、都会と違い外でたくさん遊べる。(特にコロナ禍)
- 交通の面以外全て良い。
- 挙げればデメリットもたくさんあるが、それ以上に自分をここまで立派に育ててくれた村であると思える。

好きでないところ

- どこかへ行くのに車が必須で交通手段が少なく、高校や買い物に行くのが大変。友達の家が離れている。
- 地区によって遊べるところにかたよりがあがる。
- 自然災害がある。
- お店がもう少し近いと良いなと思うことがある。
- 都会みたいなのに少し憧れがある。

パンフレット作成者より

これは泰阜村の子どもたちが育つ環境を見える化したパンフレットです。今ここにある魅力の本質が、これからも大切にされて残っていくよう、そして、更に磨かれて村内外に広まっていくことを願っています。

平成31年3月2日 地域おこし協力隊 小黒あかり

泰阜村子ども・子育て総合支援センターにじいろ

〒399-1895 長野県下伊那郡泰阜村3236-1

TEL 0260-26-2216

E-mail kosodate@vill.yasuoka.nagano.jp

制作: デザイン ソレイユ イラスト: 布袋田早紀、結城ななせ

やす おか 泰阜村で育つ

子どもも
大人も



泰阜村の教育・子育てパンフレット

やす おか 泰阜村ってこんな村

人口約1,500人の泰阜村は、
保育所も小学校も中学校も1つずつ。
小さな泰阜村の人々・自然・精神は、
子どもが育つための良い土です。



子どもにとって、自然は絶好の遊び場です。
作られたおもちゃは遊びが限られてしまいますが
自然の中での遊びは無量大。
五感を使った遊びは、わくわくするだけでなく
想像力、創造力、思考力、チャレンジ精神…
いろいろな力が培われます。
人生を自分らしく楽しみながら
豊かに生きられる人に育っていきます。

まもる

自分たちの地域は自分たちで守る

国道も信号もコンビニもない村だからこそ、互いが支え合うことが当たり前。「自分たちの地域は自分たちで守る」という精神が強くあり、普段からつながりを大切にしたい、あたたかなコミュニティがあります。

集落のつながり

現在19ある集落ごとの結びつきは強く、祭りや道路清掃、どんど焼きなどを行っています。



みんなで作る行事

夏祭り、ロードレース大会など、村民が協力して作る行事がたくさんあります。「花いっぱい運動」の行事に村民総出で道脇に植えるマリーゴールドは、見事に村を彩ります。

道路愛護

集落、シニアクラブ、グリーンレンジャー、職場など、様々な集まりで道路清掃を行います。村民で地域を守る仕組みがあります。



子どもが育つための良い土 泰阜村に根付いている精神

そだてる

村の子どもは みんなで育てる

昭和恐慌の貧しい時代に教員が給与の一部を村に寄付する際、当時の校長が、「単に村に寄付するのではなく、将来村を背負って立つ子どもたちの夢や愛を豊かに膨らませてやるために使おう」と提案し、美術作品を購入しました。そのことは、現在も続いている学校美術館の設立につながりました。泰阜村には『貧すれど食せず』『どんなに物がなく生活が苦しくても、心だけは清らかで温かく豊かでありたい』という信念



学校美術館

と、「学校や学問の尊重が最も大事である」という教育尊重の気風が根付いています。

ともにいきる

自然と共に生きる

自然と共に生きてきた人々は、身近にある物を上手に活用し、食べたり、暮らしに利用したりします。

竹の間伐

たくさんある竹を、炭にしたり、畑の支柱にしたり、竹細工をしたり、どんど焼きに使ったり、様々な活用します。



間伐した竹で竹炭作り

農業

家で食べる米や野菜は自分で作っている人も多くいます。天気や気候、生き物をよくみて暮らしています。



狩猟

村内の猟師さんたちは、鹿や猪などを狩り、命をいただいて暮らしています。



自然の恵み

春は山菜、たけのこ、秋はきのこ、柚子、柿。自然の恵みを美味しくいただきます。





小学生から大人まで様々な世代の人がみんなで楽しく太鼓を叩いています。泰阜子ども太鼓(小学生)とやすおか太鼓(中学生以上)があります。

「親子であたかくて楽しい時間を大切に過ごしてほしい」という思いを込めて贈るブックスタートを3回(6か月、1歳6か月、3歳)実施し、絵本を2冊ずつプレゼントしています。また、子育て支援ボランティア「カンガルークラブ」のみなさんが、村のさまざまな場所での読み聞かせの会を長期にわたり行っています。

心

俳句・短歌を学ぶことで豊かな感性や表現力が育まれています。

※アララギ派の女流歌人、金田千鶴は泰阜村出身です。学校では春秋に句会が、村では金田千鶴を偲んだ「伊那谷短歌まつり」が毎年開催されています。



温田地区の「くれ木踊り」などの祭りでは小中学生も踊ります。古くから伝わる祭りに加わって昔の人たちの暮らしや思いを感じ、伝統文化をつなぎます。

やすおか 泰阜村内の活動紹介



参加費 ¥500/回

NPO法人グリーンウッド自然体験教育センター(通称:グリーンウッド)が村内の小学生を対象に、生まれ育った村の自然や文化、歴史や産業、暮らしの営みをテーマにした体験活動を行っています。村民が先生になり、泰阜村の魅力を子どもたちに伝えています。

自然

きんの金野地区では、自然の中で遊ぶことが少なくなっていることを案じた人たちが、平成8年に村で初の育成会を結成しました。りんごの摘果・収穫、ほたる祭り、クリスマス会などを行っています。
※活動は地区ごと様々です。



泰阜村の子どもたちは様々な世代の人たちの中で、自然や暮らしを楽しみ、心身ともに成長していきます。そのような環境であり続けるために、村が支えています。



保育所の年長さんが、グリーンウッドのスタッフと一緒に唐笠にある「あんじゃねの森」や大峰山、左京川などにでかけます。子どもたちは、遊びながらいろいろなことに挑戦していきます。

泰阜の自然や暮らしを仲間と共に楽しみ、心と体を育てます。



子育て支援金

- 出産祝い金(第1子10万円、第2子20万円、第3子以降50万円)
- 高校生まで医療費助成(1診療あたり300円は自己負担)
- 学校給食費補助(1/2相当額を村が負担)
- 通学定期助成(電車通学する高校生の定期購入額の50%相当額を支給)
- チャイルドシート補助(1台につき1万円を上限として1人2回まで)

※ これらは子育て支援金のうちの一部です。その他の支援金や申請方法の詳細は役場にお問い合わせ、またはホームページをご覧ください。

学童保育

放課後児童クラブ「いってきました」

学校がある平日の放課後、小学生が過ごせる場所です。子どもたちが仲間との関わりの中で「子ども社会」を創ることを応援し、自主性を育みます。村の自然や文化を学ぶ場ともなっています。

参加費 無料



野球

泰阜ベースボールクラブでは、毎年、元東北楽天ゴールデンイーグルス監督のデーブ大久保さんを招いて、「デーブ大久保野球教室」を開催しています。その回数は20回を超えています。



陸上

村では、泰阜村駅伝競走大会やロードレース大会など、気軽に出られる大会がいくつもあります。また、公民館では、身体能力向上のため、誰でも参加できる陸上教室も開催されています。

体

スポーツを仲間と共に楽しみ、健康な体を育てます。

親子スポーツ教室

参加費 無料

教育委員会では、親と子ども、年の違う子どもたちがスポーツを通して、健康で明るい生活を送れることを目指して親子スポーツ教室を実施しています。様々なニュースポーツを通して、仲間とのふれあいを楽しんでいます。

運動遊び

保育所では、運動あそびに取り組んでいます。普段あまり使わない筋肉を使った様々な運動をすることで、動ける身体になっていきます。身体を動かして遊ぶのが好きな子に育ちます。



放課後児童クラブ「いってきました」



長期休み学童保育

泰阜村子ども・子育て総合支援センターにじいろ

開所日時: 月曜日～金曜日 8時30分～17時15分(祝日除く)

妊産婦及び18歳までの子どもとその家庭を総合的に支援します。子どもたちが思い切り楽しみながら健やかに成長できる環境、保護者の不安や悩みに寄り添い、安心して子育てできる環境を家庭・保育所・学校・地域のみなでつくるための「よりどころ」となる施設です。

保健師が妊娠中から3歳ころまで訪問等で相談を受けます。子育てひろば、ファミリーサポートセンター、学童保育、経済的な支援等も実施しています。必要に応じて、保育所、学校、役場、教育委員会、社会福祉協議会、専門機関等と連携し、継続したサポートを目指しています。



参加費 おやつ代 ¥100/1日

長期やすみ学童保育

春・夏・冬休み中、小学生が過ごせる場所です。たっぷりある時間の中で、学年関係なく一緒になって過ごすことで心も体も成長します。自然の中で遊んだり、地域の方から教わったりする場ともなっています。

やすおか 泰阜ひとねるピラミッド

「ひとねる」とは「人を育てる」という泰阜の方言。
泰阜村には、人を育てる暮らしがあります。

あたたかいつながりの中で
泰阜の自然や暮らしを楽しむ。

そして、村のことを学び、村の一員として活躍する。

このような経験を積み重ねていくことで、
人生を切り拓いていく力を育み
自分らしく楽しんで生きられる人へ
一步一步成長していくことを願っています。



職場体験学習(キャリアデー)

中学校では、1年生は村内の事業所や社会福祉施設、2年生は自分の夢に沿った事業所(村外含む)で、中学時代に4日間の職場体験学習をします。



村の一員として活躍する 泰阜村でやってみる

村の行事や仕事の場へ参加し、村の一員として活躍します。
実際の社会の一員として自分の役割を考えたり、行動したりすることを通し、自分らしく生きていく力をつけていきます。



ボランティア

中学校では、生徒会の呼びかけで、泰阜村駅伝競走大会、ロードレース大会、やすおか荘や阿南学園のお祭などのボランティアに多くの生徒が参加しています。



村政を語る会

社会科で地方自治を学んだ中学3年生が、自分たちの住む泰阜村について考えたことを、村長や村議会議員、役場職員等の前で語る会です。中学生ならではの視点で、質問や提案が出されます。

民話の里めぐり

泰阜村には昔から伝わる民話がいっぱいあります。あじやね自然学校や小学校などで、その民話が伝わる場所を訪れて話を聞くと、昔の人の暮らしが見えてくるようです。

足神様(大畑)



地域の人や自然を深く知る 泰阜村を深める

村の特産物や産業、歴史、福祉等を体験を通して学びます。
地域の方から直接教わることで、地域のことを知るだけでなく、その方の思いや生き方も感じられます。



かたくりの花の見学

4月に花が咲くと、小・中学校の校歌にも歌われているかたくりの花(村花)の見学に行きます。保存活動を続ける方が、かたくりの生態や保護活動への思いを話してくれます。



泰阜村の宝物

泰阜村の特産物である、こんにやく、源助かぶ菜、あまご、泰阜トマトなどについて学びます。生産者の方のところへ行って話を聞いたり、自分たちで育てて加工したりします。



育てたこんにやく芋でこんにやく作り

川登り

5・6年生は、グリーンウッドのスタッフのサポートで、村内の川で川登りをします。大自然の川での体験は、初めはちょっと怖いけれど、その気持ち良さや楽しさはたまりません。



地域の人や自然との暮らしを楽しむ 泰阜村を楽しむ

自然の中で遊んだり、地域の方から教わったり、たくさん楽しめます。
周りの人たちの愛情の中での経験は、新しいことにも「やってみよう」と挑戦するエネルギーの源になります。



わくわく講座

小学校では、年に1度、地域の方を講師に、「おやす」や茶道、扇作り、革細工などに挑戦します。地域の方と子どもたちの交流の場ともなっています。



季節の恵み

近くの農家の方にたけのこ、梅、ブルーベリー、梨、きのこなど、様々な恵みを採らせていただきます。収穫した梅を使い、みんなで作った梅ジュースを作って飲むのも最高です。それぞれの季節の恵みは暮らしの楽しみです。



なめこの収穫



おさんぽ

保育所では、よくお散歩にでかけます。山で木の葉や葉っぱを拾ったり、ヤギを見に行ったり、役場へ行ったり...村の人たちともたくさん出会い、子どもたちは自然とあいさつも覚えます。

きのこの駒打ち

保育所や小学校では、地域の方たちに教わりながらきのこの駒打ち体験をしています。秋には、できたきのこを味わい楽しんでいます。

愛情たっぷり給食

保育所・学校の給食は、食育や地産地消を大切に考え、村の野菜がたくさん使われています。時には、クラスで作った作物が出る給食や、生産者の方と一緒に食べるスペシャル給食もあります。



梅の収穫

山登り



おみねざん たもと 大峰山(田本)

雪遊び



川遊び



森遊び



あじやねの森(唐笠)

子育てひろば

これから子育てをするご夫婦、0~3歳児とそのご家族を対象に実施している、親子の交流の場です。専門家に相談できる日もあります。月に1度開催しているわんぱくクラブでは、季節に合った楽しい活動や行事、子育てに関する講座などを計画しています。(毎週火・木・金 9時~14時/ふれあいの森図書館にて)

参加費 無料

親子が安心して過ごせる環境をつくる 土台をつくる

子どもたちの暮らしと一緒に楽しみ、困ったときに相談できる仲間とのつながりを育てます。親子が安心して過ごせる環境は、これからの強い味方です。



やすおか暮らしを楽しむ会「てまひま」

「もっとたくさんの方に泰阜の暮らしの面白さを体験してほしい!」との思いから、暮らしの面白さをそのまま体験する企画をしています。



なでしこの会

「泰阜村で暮らす女性同士、気軽に話せる仲間ができる場がほしい」と、有志主催で交流会を開いています。BBQ大会や五平餅の会など、楽しい企画で交流を深めています。(年に数回)



めざす子ども像

泰阜コミュニティスクール



泰阜コミュニティスクールは、家庭・学校・地域がみんなで一緒に子どもたちを育てていくことを目指してできた仕組みです。「学校運営協議会」は子どもたちや学校にとって必要な支援について中心となって協議していくところ「子ども応援隊」は、子どもたちや学校をそれぞれの立場で支援して下さっているみなさんのことです。2021年度より新しい体制で活動を開始しました。



みんな
知合いの
安心感

一人一人の
存在が大きい

すぐに
世代間交流

食材に近い

どどん
つながる

動きやすい

政治に近い

泰阜村のコミュニティ



泰阜育ちの先輩たちが
おすすめ!

泰阜村おすすめマップ

きんの 金野地区おすすめスポット

- 1 **ソレイユ金野住宅の裏**
夏はとても涼しくて、リラックスしたい時や探検するときにオススメです。
- 2 **金野諏訪神社**
国の重要文化財です。室町時代の人たちもお参りした本殿がきれいに残っていて室町を感じることができます。

いなふしど 稲伏戸地区おすすめスポット

- 3 **どどめき溪谷**
稲伏戸のおじさんたちが整備して楽しめるようになった溪谷。ミニ沢登りもできる気持ちいいスポットです。“たまゆら”が写真に写ることもあるとか!?
- 4 **大きなフキ**
トトロも入れるような大きなフキがあります。(6~7月頃)

からかさ 唐笠地区おすすめスポット

- 5 **あんじゃねの森**
ツリーハウスのある森。落ち葉のソリ滑りをしたり、たき火をしたり、キャンプをしたりできます。

ひらしまだ 平島田地区おすすめスポット

- 6 **体育館前のお稲荷さん**
なくし物をしてしまった時、お参りするとなくした物が出てくるらしい。
- 7 **やすおか命の牧場**
馬、ヤギ、にわとりなどがいて、ホースセラピーをやっていきます。
- 8 **やすおかプレーパーク**
「自分の責任で自由に遊ぶ~ケガとお弁当は自分持ち~」をモットーに自然の中で遊びます。(月1回、冬季休業)
- 9 **あいパークやすおか**
ボブスレー、パターゴルフ、小さい子向けの遊具の他、ヤマユリやブルーベリーなどの植物もあります。運営されているおじさんたちのアイデアのつまった公園です。(冬季休業)
- 10 **ふれあいの森図書館**
役場の2階にある絵本がメインの図書館。勉強をしたり、遊んだり、会議をしたり。いつでも誰でも使えるスペースになっています。週3回、子育てひろばもやっています。

たもと 田本地区おすすめスポット

- 11 **NPO法人グリーンウッド(だいだらぼっち)**
あんじゃね自然学校や放課後児童クラブ「いってきました」等もしています。
- 12 **草來舎** ぎっくとまるちゃんの陶芸教室がおすすめです。
- 13 **学校美術館**
全国でもめずらしい、学校内にある美術館です。学校が開いている時間帯はいつでも鑑賞できます。年1回企画展もあります。(入場無料)
- 14 **田本公園**
広場では、野球やサッカーができます。
- 15 **福寿院**
お地藏様がたくさんありホッとします。子どもが行くと、鐘を突かせてくださったり、お土産をくださったりすること!福寿院までの道からの眺めは最高です。
- 16 **だいだらぼっちの前の神社**
弁天様がいます。これで、テスト50点UPした人もいます!

泰阜の夏はやっぱり川遊び

- 18 **まんご 万古溪谷・二軒屋キャンプ場**
水も景色もキレイで、マイナスイオンを感じる溪谷です。沢登りは「流れが急なところもあるので、スリルがあって楽しい!」と大人気です。
- 20 **さきょう 左京川・左京キャンプ場**
学校からも歩いて行ける身近な楽しい川。夏は、グリーンウッドの山賊キャンプをやっています。

- 19 **天竜川**
あんじゃね自然学校の「天竜川下り」は大人気です。川を流れて、飛び込んで。最高です。天竜ライン下りも人気です。

- 21 **しっぺの 漆平野キャンプ場**
水がとてもきれいで、小さな滝もあります。小さい子にもオススメです。

ホタル 7月

金野の生活改善センターの近く、三耕地の山国体験の館、明島、あいパークなど、ホタルが見られるところがたくさんあります。

どんぐり 9月



かたくりの花 4月

稲伏戸や役場にスポットがあります。(保全されています。)

山菜・たけのこ 4月



きのこ 10月



ブルーベリー 7月



がじな しっぺの 我科・漆平野地区おすすめスポット

- 17 **まんございどう 万古隧道**
我科・漆平野にあるトンネル。電球が少ないので歩くドキドキ。きもだめしもできる!?



夕日は絶景で
心をいやしてくれ、
夜は星もよく見えます。

田本一周もおすすめ。
夜だちと遊ぶ時は、大体これをして。
気持ちがスッキリします。

山歩きも楽しい

- 南の **22 おおみねざん 大峰山**
気軽に行ける山でながめがキレイ。雪が降ったときに、ソリをするのも面白いです。
- 北の **23 ぶんがいざん 分外山**
役場から30分で登れる! 気軽に行ける山です。
- 24 こじろがしら 小城頭**
栃城にある山。開山祭やマラソン大会をやっています。

気持ちの良い日にぶらっと村内を歩いてみよう。
泰阜村の更なる魅力が見つかること間違いなし!
出会う村の人に声をかけておしゃべりするのをおすすめだよ。
きっとおもしろ情報がゲットできるはず。

おすすめ・おさんぽコース

民話の里めぐり

民話で伝わる場所へ行ってみよう!

- 25 「足神様」
- 26 「向きをかえる地蔵さま」
- 27 「ためきの画いた絵」

秘境駅めぐり

秘境駅へ行ってみよう!

電車に乗るのもオススメです。

- 28 田本駅
- 29 金野駅

あじさいウォーキング

金野の蓮池から稲伏戸のあじさい園までは、季節になるとあじさいが咲き誇り花を楽しみながら散歩することができます。(7月頃)

古道ウォーキング

昔の人が歩いた道はおもしろい!

- 30 ひまご坂
平島田から左京まで歩いていたの!? 実は近道なのです。
- 31 お薬師様参道
稲伏戸のお薬師様の後ろから飯田の方へ続く道です。

他にも、昔の道や田んぼのあぜ道を歩くのも楽しい。

木の実や山菜を探して食べたり、
工作に使ったりするのも楽しい。

花や生き物を見に行くのも楽しみのひとつ。

ある場所は、村の先輩たちに聞いて探しに行こう!

△山菜をとる時は、地主さんに確認してからとりましょう。

